

# キリスト教の失敗③

シリーズ～さよならキリスト教～

2024/8/18

# 敗戦後の再出発

## •戦時中、戦争に協力した教会

- 天皇の神格化に反対しなかった
- 「日本基督教団」として管理下に置かれた

## •信教の自由・国家神道の解体

- 「治安維持法」「宗教団体法」の廃止
- 「神道指令」: 公職による神道活動参加の禁止

## •GHQによるキリスト教支援

- 最高司令官マッカーサーはキリスト教を土台として日本を再建することを願った
- 宣教師の来日を強く要請し、日本語訳聖書一千万冊を配布した

# キリスト教を歓迎した日本人

## •敗戦によって荒廃した人心

- 天皇陛下のためにすべての捨てて戦ったが…
- 主要な都市はほとんど爆撃によって焦土と化した

## •戦争には負けたがアメリカの文化を歓迎した

- 「鬼畜米英」と呼んで憎み、残忍な占領行為を恐れていたが、意外にも陽気で寛容だった

## •「日本基督教団」の解体

- バプテスト連盟・ルーテル・救世軍・ホーリネス・ナザレン・アッセンブリー・アライアンスなどが日本基督教団を離脱して独立した

# キリスト教ブーム(賀川豊彦)



## •「スラム街の聖者」(明治・大正)

- 神戸市新川の貧民窟に住み込み、伝道と貧窮活動に従事。労働組合を作り、牧師の資格も得た
- 自伝的小説「死線を越えて」がミリオンセラー
- 生活協同組合・キリスト新聞社などを立ち上げる

## •政治家として(昭和20~25年)

- 戦後初の東久邇宮内閣の「参与」となる
- 政財界のみならず全国的にその名が知られ、キリスト教ブームの寵児となった
- 2度のノーベル文学賞、3度の平和賞の候補

# 順調な成長期（昭和30～40年代）

## • 欧米からの物心両面の支援

- 多くの宣教師
- 経済的・物質的援助

## • 日本AGの場合

- 昭和24年、日本基督教団を離脱
- 米AGの支援により東京駒込に二千坪の土地
- 教団本部・神学校・後に録音スタジオを建てる
  - 神学生は全額無料・全県一教会を目指して開拓伝道
  - 今も残る主要な教会はこの時期に開始
- 高度成長期と共に成長
  - 路傍伝道・天幕伝道・公園伝道などで人が集まる

天幕集会内部



# 三滝グリーンチャペル・タイムトリップ

## 1957 (昭和32) - 1964 (昭和39)

【北野師横川での開拓 - 堀川満也・英子師三篠伝道〜その1】



お風呂屋さん前の教会



路傍伝道



天幕集会

三滝グリーンチャペル・タイムトリップ

1957 (昭和32) - 1964 (昭和39)

【北野師横川での開拓一堀川満也・英子師三篠伝道～その2】

青年会合宿



青年会コーラス



太田川での洗礼式

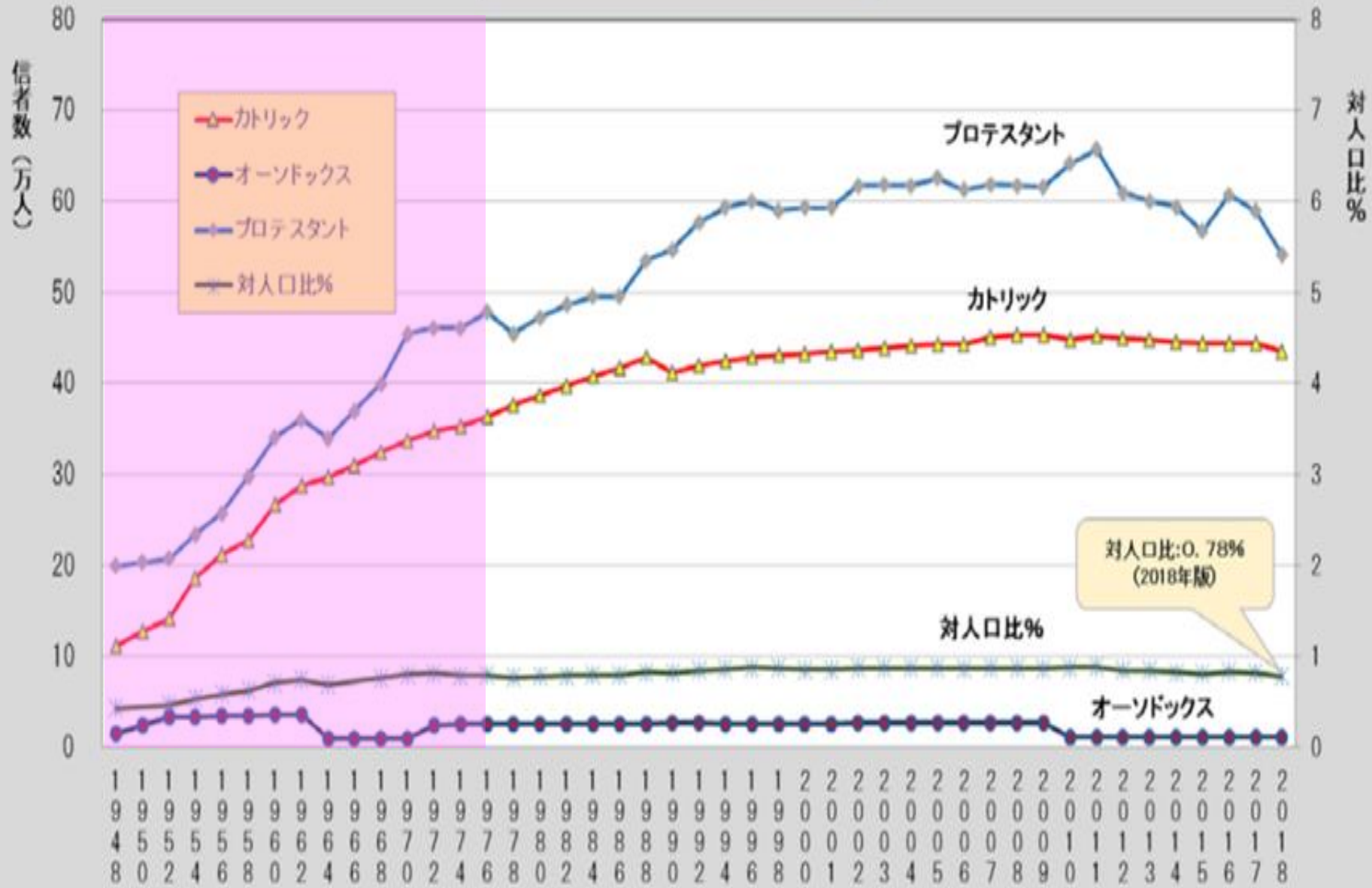


「復活の庭」土地購入



三篠での最後の日曜日

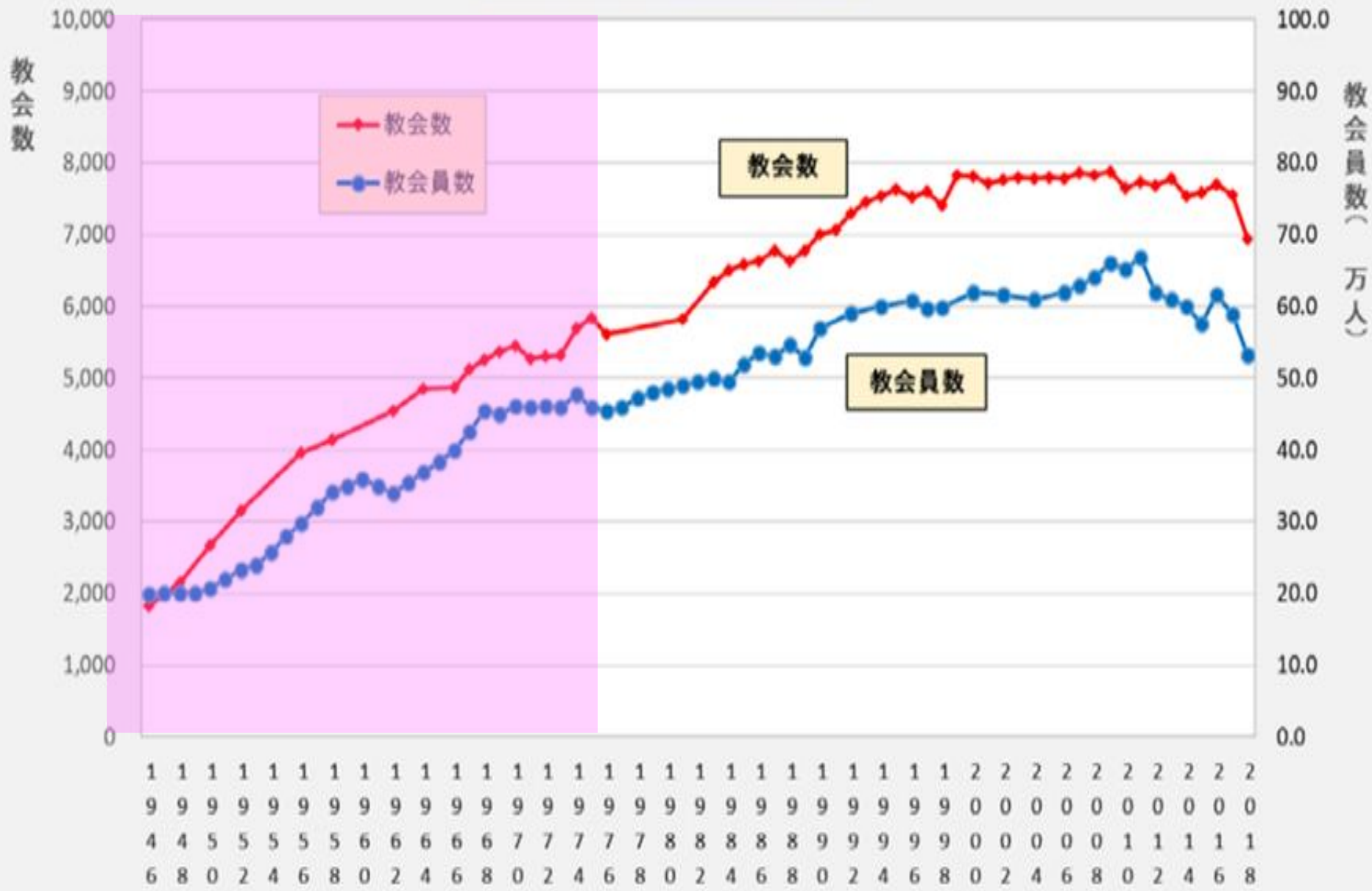
# 日本キリスト教信者数の推移



『キリスト教年鑑』年版



# プロテスタント教会教勢の推移



『キリスト教年鑑』年版

# 停滞から衰退（昭和50～現在）

## ◇3つの転機◇

### •経済成長（～1975年）

- 高度成長期の終焉と共にキリスト教会の成長が鈍化する<物質的に豊かになった！

### •オウム真理教事件（1995年）

- 宗教全般に対する恐怖心や忌避感が広がる
- 新たに救われる人の数が減少する

### •コロナ禍（2020年）

- 集まることができなくなり礼拝出席の激減
- 千を超える教会や伝道所の閉鎖

# キリスト教の失敗

## •3度訪れた宣教の拡大期

- 戦国時代
- 明治時代
- 敗戦後

## •共通点

- 国家的混乱期・価値観の変革期
- 海外からの物心両面の支援
- 日本人に受け入れられることなく衰退

## •残ったもの

- 信仰を失ったミッションスクール・わずかなクリスチャン・結婚式・クリスマス

# 私たちはどうすべきか

- 「良い畑」の到来を待つ

- 4度目のチャンスは必ず来る！

- 日本人のキリスト教を生み出す

- 「西回り」の押しつけられたキリスト教ではなく

- キリスト教文化ではなく福音の本質を文脈化する

- 主の弟子として歩み、憐れみに期待する

- 「悪を憎み、善を愛せよ／また、町の門で正義を貫け。あるいは、万軍の神なる主が／ヨセフの残りの者を／憐れんでくださることもあろう。」アモス書5:15